

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	10分	玉城 武光(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 小笠原諸島の海底火山噴火による軽石の漂着で、離島航路の港湾、漁港、海岸域等に被害が出ている。漁港、港湾、海岸の軽石除去・処分、損害を受けた漁業・観光業者への補償などを国に求めると同時に、県としても独自の支援を行うべきです。所見を伺う。</p> <p>2 経済・社会活動を再開することについて</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症(第6波)への対応及び体制強化について伺う。</p> <p>(2) 「どこでも、誰でも、何度でも、無料でPCR検査」が受けられる体制をつくるのが、コロナから命を守りながら、経済・社会活動を再開する最大の鍵だと考える。所見を伺う。</p> <p>(3) コロナによる倒産と廃業が急増し、飲食業、宿泊業の3割以上が廃業を検討しているという深刻な実態が明らかになっている。第2弾の持続化給付金・家賃支援給付金をコロナ収束まで継続的に支給することを、政府に求めるべきです。県の考え方を伺う。</p> <p>(4) コロナ禍による非正規労働者、女性、若者、フリーランスへの雇用対策の実績と経済効果を伺う。</p> <p>(5) 新型コロナウイルス感染拡大で影響を受けた観光関連産業への支援と経済効果を伺う。</p> <p>3 自衛隊のミサイル部隊配備と民間港湾などを使用した大規模演習について</p> <p>(1) 宮古、石垣への自衛隊ミサイル部隊の配備は新たな緊張を引き起こすものであり、反対すべきだ。見解を伺う。</p> <p>(2) 民間の港湾などを使用した自衛隊の大規模演習は容認できるものではない。県の対応を伺う。</p> <p>4 食料自給率の向上、安全・安心な食料の確保、国土の保全など多面的機能を重視した農林水産業の振興について</p> <p>(1) 農林水産業の生産高、生産額の到達と伸び率を伺う。</p> <p>(2) 県内の食料自給率の向上と地産地消をどのように推進してきたのか、その成果を伺う。</p> <p>(3) 気候変動や自然災害にも耐えられる施設栽培の研究、施設整備の状況を伺う。</p> <p>(4) サトウキビ価格の引上げを求める政府要請について伺う。</p> <p>(5) 漁港・漁場、養殖場、浮き・中層漁礁等の整備状況の成果と今後の整備計画を伺う。</p> <p>(6) 沖縄県農作物の種苗条例制定の意義について伺う。</p> <p>5 産業の振興と雇用の創出について</p> <p>(1) 正規雇用拡大の取組の実績と経済効果を伺う。</p> <p>6 暮らし、福祉行政について</p> <p>(1) 75歳以上の370万人を対象に、医療費の窓口負担が1割から2割に引き上げられる。窓口2割負担による影響を伺う。</p> <p>(2) 介護保険制度の見直しによる入所負担料増の影響を伺う。</p> <p>(3) 県内の自殺者数、男女別の実態と防止対策を伺う。</p> <p>7 安全・安心で快適な社会基盤整備について</p> <p>(1) 県民の命・安全を守るための身近な防災・減災対策事業について</p> <p>ア 津波洪水の浸水想定区域内に立地している学校、児童施設数等の状況と減災対策を</p>			

伺う。

- (2) 津波洪水の浸水想定区域地の海拔表示、避難所、避難訓練などの実態と課題を伺う。
- (3) 地域で消火活動や災害救助に当たる消防団員の確保と待遇改善を伺う。

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	11分	比嘉 瑞己(日本共産党沖縄県議団)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設をめぐる政府の設計変更申請について、知事が不承認を決定したことを全力で支持する。政府の設計変更申請では、基地の使用開始まで12年、総工費は9300億円かかるとしている。深さ90メートルに及ぶ軟弱地盤の改良工事によって、美しい海が大量の土砂によって埋め立てられ、世界に誇る沖縄の自然環境は破壊される。辺野古新基地建設は、政治的にも技術的にも不可能である。政府は申請を取下げ、新基地建設を断念すべきである。知事の決意を問う。</p> <p>(2) 1996年のSACO合意から25年が経過したが、「米軍基地の負担軽減」どころか、負担は激増している。基地の機能強化、訓練激化による騒音被害、環境汚染、米軍関係の事件・事故の実態はどうか。これら米軍基地から派生する被害はまさに人権問題ではないか。見解を問う。</p> <p>(3) 普天間基地所属の欠陥機MV22オスプレイは、2016年に名護市安部の海岸で墜落事故を起こした後も、日常的に住宅地上空を飛行し、県内各地で危険なつり下げ訓練を実施している。そして、先月23日、宜野湾市の住宅密集地で、金属製の水筒を落下させる重大事故を起こした。県民の不安と怒りは大きく広がっており、日米両政府に対して厳しく対応を迫るべきである。</p> <p>ア 普天間基地の即時運用停止、閉鎖・撤去を求めること。</p> <p>イ 危険な欠陥機オスプレイの撤退を求めること。</p> <p>ウ 航空特例法を廃止して、日米地位協定の抜本改定を求めること。</p> <p>(4) 那覇軍港に、欠陥機オスプレイや大型ヘリが相次いで飛来している。沖縄の施政権返還に当たり基地の使用条件を定めた「5・15メモ」を逸脱しているのにも関わらず、防衛局は「航空機の着陸を排除していない」との認識である。このまま日本の主権を侵すような運用を認めれば、今後とも那覇軍港への米軍機着陸が常態化される危険があり断じて許されない。県の対応を問う。</p> <p>2 玉城県政のこれまでの実績について</p> <p>(1) 玉城知事は翁長前知事の遺志を継承し、県民が心を一つにして対立と分断を乗り越えていく「誇りある豊かさ」を目指して、建白書実現のために県民とともに歩んできた。また、沖縄の可能性を生かした経済振興や離島振興を推進し、子供の貧困対策を初めとする教育・福祉・医療政策にも積極的に取り組んできた。玉城県政のこれまでの取組について進捗状況と成果を問う。</p> <p>3 沖縄振興について</p> <p>(1) 沖縄振興計画特別措置法は、苦難の歴史を歩んできた沖縄県民への政府の「償いの心」が原点であり、新たな米軍基地負担の代償によるものではない。一方で、辺野古新基地建設に反対をする翁長県政が誕生して以降、沖縄関係予算や一括交付金の減額が続いており、政府の姿勢は許されない。</p> <p>ア 「基地と振興策のリンク論」は許されるものではない。見解を問う。</p> <p>イ 次期振興計画策定に向けた県の取組を問う。</p>			

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	15分	國仲 昌二(立憲おきなわ)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 日本復帰50周年について

(1) 来年、日本復帰50周年を迎えるに当たり、沖縄県としてどのような歴史認識を持って迎えるのか、日本復帰をどう評価するのか伺う。

2 米軍関係について

(1) 去る11月25日、県は「普天間飛行場代替施設建設事業公有水面埋立変更承認申請」について不承認とした。

ア 「不承認」を発表した記者会見で『「工事は絶対に完成しない」と自信を見せた」との報道があったが、その根拠について伺う。

イ 今後、国の対抗措置やその後の法廷闘争が想定されているが、県としては、どのようなことを主張していくのか伺う。

ウ 国が繰り返し主張する「辺野古移設が唯一の解決策」について知事の見解を伺う。

エ 官房長官が「普天間基地返還時期を示すのは難しい」とコメントする一方で「一日も早い全面返還を実現する」とコメントしている。矛盾ではないかと思うが、知事の見解を伺う。

オ 軟弱地盤について沖縄防衛局は、埋立てが始まる3年前から把握していたことが明らかになった。「軟弱地盤の存在を知っていながら、当初は隠して承認を受け、既成事実をつくって設計変更を受けたほうが有利だと考えていたとすれば、あまりにも県民を愚弄している」旨の識者の発言がある。知事の見解を伺う。

(2) 民間地でのつり下げ訓練について

ア 市街地周辺や自動車道を横断したつり下げ訓練が頻繁に見られる。危険極まりないと思うが、知事の見解を伺う。

(3) 那覇軍港にオスプレイが着陸したことについて

ア 那覇軍港はオスプレイの着陸帯になっていない。県の抗議に対する日米両政府の対応について伺う。

イ 県内各地で民間港などを使った自衛隊統合演習が行われたが、関連はあるのか伺う。

3 軽石対策について

(1) 軽石対策関連予算について

ア 今後の漂着量の想定が困難な中での補正予算となったが、今後漂着量が想定を超えた場合の追加措置は即対応可能か伺う。

(2) 宮古、八重山など先島地区への影響について

ア 先島地区への漂着も確認されている。その影響と対策について伺う。

4 新型コロナウイルス感染症について

(1) 新規陽性者数が激減している。

ア 今後の予測及び対策について伺う。

イ 3回目のワクチン接種について、県の取組状況を伺う。

(2) 県立病院の未収金について

ア コロナ禍で県立宮古病院の未収金が増加したとの報道があった。現状を伺う。

5 教育関係について

- (1) GIGAスクールについて
 - ア 県内の取組状況について伺う。
 - イ 今後の取組について伺う。
- (2) 運動部主将が自死した問題について
 - ア 県の設置した第三者委員会の取組について伺う。
 - イ 「部活動の在り方に関する方針」(改訂版)について伺う。
- (3) 沖縄県立沖縄高等特別支援学校について
 - ア 「軽度知的障害高等部単独の全寮制の高等養護学校」について伺う。
 - イ 宮古で分校設置を求める声があるが可能か伺う。
- 6 財政関係について
 - (1) 赤字地方債について
 - ア 臨時財政対策債(赤字地方債)の残高が多額になり、その影響が危惧されているが、沖縄県の現状を伺う。
 - (2) 沖縄振興予算について
 - ア 沖縄振興予算の概算要求で公共事業関係費等がマイナス158億、11%の減となっているが、その影響について伺う。
- 7 子供の貧困問題について
 - (1) 「子どもの貧困対策推進基金事業」の取組について伺う。
 - (2) 子どもの貧困対策推進基金の設置期間が今年度末までとなっているが、期間延長は考えているか伺う。
- 8 「沖縄県農作物の種苗の生産に関する条例(案)」について
 - (1) 案の背景にある「種子法」廃止と「種苗法」改定の影響について伺う。
 - (2) 11月30日まで募集したパブリックコメントの主な意見について伺う。
- 9 沖縄県のエネルギー政策について
 - (1) 政府のエネルギー基本計画では、2030年度電源構成目標で再生可能エネルギーは36～38%に拡大した。
 - ア 現在の県の再生可能エネルギー電源構成目標値について伺う。
 - イ 再生可能エネルギーの構成目標値の拡大について伺う。
- 10 先島地区の信用保証協会連絡所について
 - (1) 先島地区の連絡所を本部に統合すると聞いているが、理由を伺う。
 - (2) 統合することで先島(宮古、八重山)への影響はないか伺う。
- 11 宮古関係について
 - (1) 宮古島市へのミサイル搬入について
 - ア ミサイルは搬入されたが、市民の中には国の対応への怒りや緊急時の対応などで安全面の不安が残っている。県としての見解を伺う。
 - (2) 県道83号線の崩落した転落防止柵の復旧工事について
 - ア 復旧工事の進捗状況を伺う。
 - (3) 下地島空港利活用事業第3期募集について
 - ア 応募状況について伺う。
 - (4) 農家戸数の激減について
 - ア 農家戸数が急速に激減し深刻な問題となっている。対策を伺う。
 - (5) ハンセン病協議会について
 - ア ハンセン病問題の全面的な解決に向けた協議会設置を求める要望書について伺う。
 - (6) 入島協力金と県の進める宿泊税について
 - ア 宮古島市の入島協力金について、県の宿泊税の動向を見極めるとしている。状況を伺う。

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	15分	仲宗根 悟(南風)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 沖縄防衛局から提出された辺野古新基地建設事業に係る埋立地用途変更及び設計概要変更承認申請について、県が不承認としたことについて伺う。</p> <p>(2) 石垣港及び与那国島祖納港を使用しての自衛隊訓練に対する県の見解を伺う。</p> <p>(3) 米軍関係者が成田空港からの入国の際、新型コロナウイルスの陽性が確認されたにもかかわらず国内線を利用し沖縄へ来たとの事案は、米軍関係者への運用上の問題が浮き彫りになった。県の認識と今後の対応を伺う。</p> <p>(4) 軽石漂着に係る被害状況と県の対応、今後の取組について伺う。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染防止対策について</p> <p>(1) 県立病院は重要な役割を果たしているが、これまでの検証と今後の対応を伺う。</p> <p>(2) 子供たちの学校生活の制限もあった中、不登校の問題や学習環境の確保等、様々な課題が懸念されるが、どのように取り組まれているか伺う。</p> <p>(3) おきなわ彩発見キャンペーンは全ての県内旅行の利用が実施されたが、利用が以前と比べ煩雑に加え、期間が12月31日までと期間が短いとの声を聞くが県の対応を伺う。</p> <p>3 農業振興について</p> <p>(1) 鹿児島県で鳥インフルエンザの発生が確認されたことについて、周辺地域や本県への蔓延が懸念されるが、その対策について伺う。</p> <p>(2) 松くい虫の被害が拡大している。本島中北部や嘉手納弾薬庫地区の米軍基地内の被害が広範囲に見受けられるが、県の対応と対策について伺う。</p> <p>(3) 沖縄21世紀農林水産業振興計画に掲げた沖縄ブランドの確立と供給体制の強化、担い手の育成・確保等、施策目標の実現に向けての取組状況及び課題を伺う。</p> <p>4 雇用情勢について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響で厳しいとされる県内の雇用状況と対策を伺う。</p> <p>(2) 来春卒業予定の高校生の求人、求職、就職内定率はどのような状況か伺う。</p> <p>(3) 外国人労働者の状況はどうか伺う。</p> <p>5 米軍基地問題について</p> <p>(1) 宜野湾市内の住宅にオスプレイから水筒が落下する事故が発生した。一步間違えれば大惨事を招きかねない事態であり看過できるものではない。県の対応を伺う。</p> <p>(2) オスプレイが物をつるして民間地上空で訓練しているのが住民によって目撃され、不安を訴えている。民間地上空にまで及ぶつり下げ訓練は中止を求めるべきである。県の対応を伺う。</p> <p>(3) 嘉手納基地や普天間基地の訓練激化や外来機の飛来も合わせ騒音被害が深刻である。夜間・早朝の飛行も繰り返し行われており、周辺住民の生活環境が破壊されている。また嘉手納基地においてはF15戦闘機の訓練用のフレアの誤射事故も発生しており、米軍に対して不安と怒りがとどまるところを知らない。県の認識と対応を伺う。</p>			

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	15分	平良 昭一(おきなわ)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 今回の総選挙における結果についての受け止めを伺う。</p> <p>(2) 知事は、初めて岸田総理と面談を行ったが、その内容はどうであったか。また、面談しての率直な感想を伺う。</p> <p>(3) 昨年2月に辺野古の埋立変更承認申請がなされて、今年25日に不承認の判断を行った。不承認の判断に至った主要素を伺う。</p> <p>(4) 熊野鉦山の件について、遺骨が入った土砂を辺野古埋立てに使うことはあってはならない。事業者の主張として、風景を保護すべき理由は存在しないとしているが、これについて県の対応を伺う。</p> <p>(5) 軽石対策について</p> <p>ア 軽石の漂流・漂着は自然災害で、国へ早急に除去に伴う人員や資機材を求める考えはあるか。</p> <p>イ 県は新型コロナ対策で多くの県費を投じており、財源に限りがある中、国に財政的な支援を求めないのか。あわせて、被害を受けた漁師などへの補償制度を設ける考えはないか。</p> <p>ウ まだ被害を受けていない地域の港に、先行してオイルフェンスを設置することはできないか。</p> <p>エ 沖縄は離島県であり、空路がない離島住民の足は高速船などの海路である。軽石の影響で生活航路が止まった場合、住民への生活・福祉サービスが滞るおそれがある。住民生活を守るためにも県としてどのように具体策を講じるのか考えを伺う。</p> <p>(6) 消防防災ヘリ操縦士育成事業について</p> <p>ア 現在休航状態の伊江島空港で消防防災ヘリ操縦士育成事業ができないか伺う。</p> <p>(7) 職員の期末・勤勉手当について</p> <p>ア 今年、沖縄県人事委員会は知事に県職員の期末・勤勉手当について、年間の支給月数を0.15月引き下げて4.30月分とする勧告を行っている。勧告どおりに対応する予定なのか。勧告どおりの対応なら、「沖縄県職員の給与に関する条例」を11月中に改正する必要があるが、今議会の先議案件として提出されていないがなぜか伺う。</p> <p>イ 今後、勧告どおりに給与条例を改正するなら、引下げ分を差し引く方法について伺いたい。給与条例の改正が11月までに完了しなかった場合は、6月のボーナスか月給で調整することが考えられる。しかし、6月ボーナスに反映させる場合、それまでに退職する職員は引下げの影響を受けないことになる。一方、日常生活の基になる月給を調整することになれば職員の反発を招く可能性もあるがその点を伺う。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 現在、足元の感染状況は大分落ち着いてきたが、第6波に備えてどのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>(2) これまでの第1波から第5波までの検証を行うとのことだったが、どのような検証内容になったか伺う。</p> <p>(3) 県内のワクチンの接種状況について伺う。</p> <p>(4) ワクチン接種・検査陰性証明の活用にあたって、デジタルツールの活用を検討すべきと</p>			

思うがその見解を伺う。

- (5) ウイズコロナの下、那覇空港国際線の再開に向けた現状と課題について伺いたい。
 - (6) 観光需要の回復に向け、インバウンド対応は重要となってくるが、誘客の戦略を聞きたい。良質な観光客誘致には高付加価値な観光、観光消費額の向上へと転換を図る必要があるが、具体的戦略をどのように考えているのか伺う。
 - (7) ブライダル関係業への支援事業について伺う。
- 3 福祉・平和行政について
- (1) 本県におけるヤングケアラーの実態はどうなっているのか伺う。
 - (2) 来年4月に国頭村・与論町が取り組む海上平和集会への県の役割について伺う。
 - (3) 広島県、長崎県との合同平和祈念祭を開催してはどうか伺う。
- 4 企業局事業について
- (1) 嘉手納基地周辺河川及び地下水から高濃度のPFOS等が検出されたことだが、その対応について伺う。
 - (2) 金武町水道水源におけるPFOS等の検出に係る対応について伺う。
- 5 北部行政について
- (1) 北部基幹病院の進捗状況について伺う。
 - (2) 県道84号線整備の進捗状況について伺う。
 - (3) 北部テーマパークについて伺う。
 - (4) 伊平屋空港開設の進捗状況について伺う。
 - (5) 外来種対策について
 - ア 北部地域において生息範囲が拡大しているタイワンハブについて、現状認識と対策について伺う。
 - イ 外来種対策・生物多様性推進プロジェクトチームを設置したようだが、その内容について伺う。
- 6 世界のウチナーンチュの日・琉球歴史文化の日・第7回世界のウチナーンチュ大会・世界ウチナーンチュセンターの一体化に向けた取組について伺う。
- 7 那覇空港内クリニックの実現性について伺う。
- 8 葉たばこ生産の状況について
- (1) 県内における葉たばこ農家戸数及び作付面積は年々減少しているが本県はどう考えているか。日本たばこ産業(JT)は11月11日木曜日に全国葉たばこ生産農家の約4割に当たる1729戸が令和4年以降の生産をやめると発表し、沖縄県では63戸が廃作する。沖縄県農業産出額では葉たばこは約39億円で5位である。稼ぐ品目であるにもかかわらず後継者不足、新規参入者制限などの問題があり、衰退してきている。今後の課題、対策についてどのように考えているのか伺う。
 - (2) 近年、製造たばこの販売数量は減少傾向であるが、販売数が減れば税収は落ち込む。「国たばこ税」は地方交付税へ、「地方たばこ税」については県・市町村の財源となっている。今後の財政運営に支障を及ぼさないか、本県のたばこ税への影響について伺いたい。
- 9 糸満市に建設中の高度衛生管理型荷さばき施設整備の進捗状況について伺う。

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	15分	金城 勉(公明党)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 復帰50周年を迎えるに当たって知事の思い、決意を伺う。</p> <p>(2) 次期沖振計に玉城カラーはどのように反映されているか。</p> <p>(3) 辺野古埋立ての設計変更承認申請をこの時期に不承認とした理由を伺う。</p> <p>2 コロナ対策について</p> <p>(1) 第4波、第5波の反省点をどのように整理しているか。第6波への備えはどうか。</p> <p>(2) コロナで傷んだ県経済の復興対策はどうか。</p> <p>3 次年度の沖縄振興予算と次期沖縄振興計画について</p> <p>(1) 次年度の沖縄振興予算の確保の見通しはどうか。</p> <p>(2) 次期沖縄振興計画に教育費の無償化を明記してはどうか。それを「子ども特区」として国に提案・申請してはどうか。</p> <p>4 デジタル化の取組について</p> <p>(1) DX・デジタルトランスフォーメーションの庁内での取組はどうか。</p> <p>(2) マイナンバーカード普及の県の取組を伺う。</p> <p>5 女性政策について</p> <p>(1) 子宮頸がんワクチン接種に関する県の認識を伺う。</p> <p>(2) 今後の県の取組はどうか。</p> <p>(3) 「生理の貧困」問題が注目されたが、県の取組はどうか。</p> <p>6 奨学金返還助成制度の創設について県の取組を伺う。</p> <p>7 障害者支援について</p> <p>(1) 去る9月18日に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づく県の対応を伺う。</p> <p>8 国立自然史博物館誘致の取組はどうか。</p> <p>9 軽石問題への対応について</p> <p>(1) 除去するためのボランティアの活用はどうか。</p> <p>(2) 軽石の利活用の取組はどうか。</p> <p>(3) 魚養殖、モズク養殖、アーサ養殖など漁業者への被害補償はどうか。</p>			

代表質問通告表

令和3年第10回沖縄県議会(定例会)

12月03日(金)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	15分	當間 盛夫(無所属の会)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 世界では新たな変異株「オミクロン」やヨーロッパを中心に感染者数が増加している。次なる対策は重要であるが、医療・療養施設の体制や那覇空港での水際対策強化について、課題と取組を伺う。</p> <p>(2) ワクチン接種は重要な感染対策であるが我が県は全国最下位である。3回目接種が予定される中で課題と今後の対策、取組を伺う。</p> <p>(3) コロナ禍での心の問題が指摘されているが、DVや虐待・うつ病等の状況と対策、取組を伺う。</p> <p>2 新たな振興計画について</p> <p>(1) 人材育成の中での保育から高等教育までの教育費無償化の拡充は重要と考える。そこで中卒進路未決定者及び高等学校中途退学者の状況と高等専修学校や各種学校への補助金等の支援状況と活用、取組を伺う。</p> <p>(2) DXの推進には人材育成が重要であるが、公的職業訓練や専修学校各種学校を活用したリスキリング(学び直し)の拡充について課題と取組状況を伺う。</p> <p>(3) 第5世代移動通信システム(5G)への対応は、テレワークでの観光産業や離島の遠隔医療など早急に全県的に設置整備することでの差別化が図られると考えるが、対策、取組を伺う。</p> <p>(4) 鉄軌道導入は脱炭素社会の実現、時間的・経済的損失など早期の導入に取り組むべきであるが課題と取組状況を伺う。</p> <p>(5) 海洋政策の拠点として「持続可能な海洋島嶼圏」の創成とあるが、現在調査中の久米島町での海洋深層水取水施設の増設に対する県の取組を伺う。</p> <p>3 PFI(公共施設の民間資金活用)事業の取組状況について</p> <p>(1) マリントウンにおける大型MICE施設での取組状況と課題を伺う。</p> <p>(2) 奥武山公園でのサッカースタジアム整備の取組状況と課題、FC琉球への影響を伺う。</p> <p>(3) 狭隘化する那覇港での物流拠点拡充は重要であるが、青果市場再整備の進捗状況と課題を伺う。</p> <p>4 米軍基地問題について</p> <p>(1) 玉城県政での米軍基地問題で何を解決してきたのか具体的解決状況を伺う。</p> <p>(2) 普天間飛行場の返還合意から25年、同基地での新たな施設建設や改修状況を伺う。</p> <p>(3) 我が会派は、沖縄での米軍訓練の負担軽減からも馬毛島で進められている自衛隊施設の活用を提言してきたが取組状況を伺う。</p> <p>(4) 跡地利用特措法は来年3月が期限であるが、延長と自衛隊施設用地の適用対象や再開発促進での一括借上方式等の事業手法も含めた見直しについて取組状況を伺う。</p>			